

消除予定添加物名簿（案）

既存添加物 名簿番号	名称	対象※
29	イナワラ灰抽出物（イネの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。）	
41	オゾケライト	
91	グアヤク脂（ユソウボクの幹枝から得られた、グアヤコン酸、グアヤレチック酸及びβーレジンの主成分とするものをいう。）	
92	グアヤク樹脂（ユソウボクの分泌液から得られた、αーグアヤコン酸及びβーグアヤコン酸を主成分とするものをいう。）	
97	グッタハンカン（グッタハンカンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
98	グッタペルカ（グッタペルカの分泌液から得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
133	ゴマ柄灰抽出物（ゴマの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。）	
135	ゴム分解樹脂（ゴム（前号のゴムをいう。）から得られた、ジテルペン、トリテルペン及びテトラテルペンを主成分とするものをいう。）	
153	シソ抽出物（シソの種子又は葉から得られた、テルペノイドを主成分とするものをいう。）	
174	セピオライト	
179	ソバ柄灰抽出物（ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。）	
180	ソルバ（ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
181	ソルビンハ（ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
190	胆汁末（胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。）	
198	チルテ（チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
200	ツヌー（ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
203	低分子ゴム（パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
204	テオブロミン	
226	ナフサ	
230	ニガーグッタ（ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
235	ばい煎ダイズ抽出物（ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。）	
251	ひる石	
270	プロポリス抽出物（ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。）	
276	ペカンナッツ色素（ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。）	
288	ベネズエラチクル（ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
300	ホホバロウ（ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。）	
306	マッサランドバチョコレート（マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
307	マッサランドババラタ（マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	
350	レイシ抽出物（マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液から抽出して得られたものをいう。）	子実体以外から得られたもの。すなわち、菌糸体、菌糸体の培養液及び子実体の培養液より得られたもの。
351	レッチュデバカ（レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。）	
354	ログウッド色素（ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。）	
355	ロシディンハ（ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。）	

※「対象」欄に記載があるものは、既存添加物名簿に収載されている「名称」欄の名称をもつ既存添加物のうち、「対象」欄に記すものが今回の消除予定既存添加物（案）である旨を示している。